

文学を考える

～児童文学・ファンタジー・科学～



2009年12月

武蔵野学院大学 佐々木隆

資料

- | | |
|--------------------------------|-----|
| 1) 「児童文学」に関する資料（戦後を中心に） | 3 |
| 2) 「子ども観」に関する資料（戦後を中心に） | 2 1 |
| 3) こども観・児童文学史関連年表（日英米を
中心に） | 2 9 |

資 料

1) 「児童文学」に関する資料（戦後を中心に）

戦前編

事典・辞典・ガイドブック類

大関五郎編『現代童謡辞典』紅玉堂書店、1928年3月

参考文献

蘆谷重常『教育的応用を主としたる童話の研究』勸業書院、
1913年4月

蘆谷重常『童話及傳説に現れたる空想の研究』以文館、1913
年4月

高木敏雄『童話の研究』婦人文庫刊行会、1916年1月

二瓶一次『童話の研究』戸取書店、1916年12月

松村武雄『童話及び児童の研究』培風館、1922年8月

有富郁夫『児童文学十講』東京堂出版、1923年11月

岸邊福雄『童話の実際と其批評』丙午出版社、1924年6
月

蘆谷重常『童話十講』大阪毎日新聞社、1924年8月

蘆谷重常『世界童話研究』早稲田大学出版部、1924年11
月

蘆谷重常『童話学講話』日本童話協会、1929年5月

蘆谷重常『宗教童話の研究』文化書房、1931年10月

蘆谷重常『童話学』文化書房、1931年9月

- 尾関岩二『童心芸術概論』文化書房、1932年6月
日本童話協会編『童話史』日本童話協会出版部、1935年3月
蘆谷重常『童話学十二講』言海書房、1936年3月
坪田譲治『児童文学論』日月書院、1938年9月
木村小舟『少年文学史一明治編』童話春秋社、1942年—
1943年

戦後編

事典・辞典・ガイドブック類

- 内藤午朗『童謡新辞典』大京堂書店、1947年3月
長谷川誠一編『日本児童文学事典』河出書房、1954年3月
和久利栄一他編『世界児童文学事典』共同出版社、1955年3月
古谷綱武他編『現代児童文学辞典』宝文館、1955年4月
瀬田卓二他編『名作の研究事典』小峰書店、1960年5月
『現代児童文学事典』（國文学解釈と鑑賞）至文堂、1962年11月
滑川道夫編『現代児童文学事典』至文堂、1963年3月
鳥越信『日本児童文学案内』理想社、1963年8月
滑川道夫編『子どもの本の事典』第一法規、1969年11月
日本児童文学学会編『児童文学研究必携』東京書籍、1976年4月
定松正・谷本誠剛『英米児童文学読本』桐原書店、1982年4月

- 神宮輝夫『世界児童文学案内』理論社、1984年4月(初版1964年)
- 滑川道夫他編『童話研究』(復刻版:第1巻第1号~第1巻第8号)久山社、1988年-1989年
- 日本児童文学会編『児童文学事典』東京書籍、1988年4月
- 原昌、浜野卓也『新版 児童文学概論』樹村房、1988年5月
- 日本児童文学者協会編『現代日本児童文学作家事典』教育出版センター、1991年10月
- 大阪国際児童文学館編『日本児童文学大事典』(全3巻)大日本図書、1993年10月
- 日外アソシエーツ編『児童文学個人全集・内容綜覧』日外アソシエーツ、1994年12月
- 日外アソシエーツ編『児童文学個人全集・作品名綜覧』日外アソシエーツ、1995年1月
- 日外アソシエーツ編『児童文学個人全集・作家名』日外アソシエーツ、1995年1月
- 日外アソシエーツ編『児童文学全集・内容綜覧 作品名綜覧』日外アソシエーツ、1995年1月
- 日本児童文学者協会編『現代日本児童文学詩人名鑑』教育出版センター、1996年7月
- 野村真人編『S F 書誌の書誌』S - F 資料研究会、1997年7月
- 日外アソシエーツ編『世界児童文学全集・内容綜覧』日外アソシエーツ、1998年12月
- 中西敏夫編『児童文学者人名事典 外国人イラストレーター編』出版文化研究会、1998年2月

- 中西敏夫編『児童文学者人名事典 外国人作家編』出版文化研究会、1998年2月
- 定松正編『世界・日本児童文学登場人物辞典』玉川大学出版部、1998年4月
- 日外アソシエーツ編『児童文学書全情報 1951-1990』日外アソシエーツ、1998年5月
- 山北篤監修『魔法事典』新紀元社、1998年9月
- カーペンター他／神宮輝夫監訳『オックスフォード世界児童文学百科』原書房、1999年2月
- 日外アソシエーツ編『世界児童文学全集・作家名綜覧』（全2巻）日外アソシエーツ、1999年2月
- 日外アソシエーツ編『世界児童文学全集・作品名綜覧』（全2巻）日外アソシエーツ、1999年4月
- 日外アソシエーツ編『児童文学書全情報 1991-1995』日外アソシエーツ、1999年5月
- 中西敏夫編『児童文学者人名事典 外国人イラストレーター編』出版文化研究会、2000年10月
- 中西敏夫編『YA（ヤングアダルト）人名事典 児童文学者人名事典補巻1』出版文化研究会、2000年10月
- 藤野幸雄編『世界児童・青少年文学情報大事典』（全16巻）勉誠出版、2000年6月～2004年10月
- 日外アソシエーツ編『世界児童文学個人全集・内容綜覧』日外アソシエーツ、2000年10月
- 日外アソシエーツ編『世界児童文学個人全集・作品名綜覧』日外アソシエーツ、2000年11月
- 日外アソシエーツ編『児童文学書全情報 1996-2000』日外アソシエーツ、2001年3月
- 定松正・本多英明『英米児童文学辞典』研究社、2001年4月

月

日外アソシエーツ編『アンソロジー内容総覧 児童文学』

日外アソシエーツ、2001年5月

日外アソシエーツ編『CD-児童文学全集総覧』日外アソ

シエーツ、2002年3月

デヴィッド・プリンゲル編／井辻朱美監修『図説ファンタ

ジー百科事典』東洋書林、2002年11月

定松正編『イギリス／アメリカ児童文学ガイド』荒地出版

社、2003年4月

日外アソシエーツ編『児童文学テーマ全集内容総覧 世界

編』日外アソシエーツ、2003年12月

日外アソシエーツ編『児童文学テーマ全集内容総覧 日本

編』日外アソシエーツ、2003年12月

石堂藍『ファンタジー・ブックガイド』国書刊行会、2003

年12月

日外アソシエーツ編『民話・昔話集作品名総覧』日外アソ

シエーツ、2004年9月

DBジャパン編『日本の児童文学登場人物索引 単行本

篇』（全2冊）DBジャパン、2004年10月

日外アソシエーツ編『児童文学個人全集・内容総覧 作品

名総覧第Ⅱ期』日外アソシエーツ、2004年11月

日外アソシエーツ編『児童文学全集・作家名第Ⅱ期』日外

アソシエーツ、2004年11月

『児童文学翻訳作品総覧 明治大正昭和平成の135年

翻訳目録』（全8巻）大空社、2005年6月～2006年3

月

NPO図書館の学校編『子どもの本 2004年』2005

年4月

- D B ジャパン編『世界の児童文学登場人物索引 アンソロジーと民話・昔話集』D B ジャパン、2005年6月
- 日外アソシエーツ編『世界の児童文学7000』日外アソシエーツ、2005年8月
- 神宮輝夫編『世界児童文学百科 現代編』原書房、2005年10月
- 川戸道昭編『児童文学翻訳作品総覧』（全8冊）大空社、2005年6月～2006年3月
- 根本正義編『占領下の文壇作家と児童文学索引』高文堂出版、2005年12月
- 日本児童文学者協会編『現代日本児童文学詩人名鑑 保存版』銀の鈴社、2006年2月
- D B ジャパン編『世界の児童文学登場人物索引 単行本篇』（全2冊）D B ジャパン、2006年3月
- 日本児童文学者協会編『現代日本児童文学詩人名鑑 普及版』銀の鈴社、2006年12月
- 佐藤苑生編『日本児童図書研究文献目次総覧 1945-1999』（全2冊）遊子館、2006年3月
- 日外アソシエーツ編『児童文学書全情報 2001-2005』日外アソシエーツ、2006年4月
- 日外アソシエーツ編『作品名から引ける世界児童文学全集案内』日外アソシエーツ、2006年8月
- 日外アソシエーツ編『作品名から引ける日本児童文学全集案内』日外アソシエーツ、2006年8月
- D B ジャパン編『日本の児童文学登場人物索引 民話・昔話集篇』D B ジャパン、2006年11月
- 日本児童文学者協会編『現代日本児童文学詩人名鑑 普及版』銀の鈴社、2006年12月

- 日外アソシエーツ編『作家名から引ける世界児童文学全集
案内』日外アソシエーツ、2007年2月
- 日外アソシエーツ編『作家名から引ける日本児童文学全集
案内』日外アソシエーツ、2007年2月
- 児童文学翻訳大事典編集委員会編『図説児童文学翻訳大事
典』（全4巻）大空社、2007年6月
- 山北篤監修『幻想図書事典』新紀元社、2008年9月
- 海野弘『ファンタジー文学案内』2008年12月
- 『SF・ファンタジー映画の世紀—SF・ファンタジー映
画史を俯瞰する永久保存ガイド』（別冊）宝島、2009年
1月
- 出口保夫・小林章夫・斉藤貴子編『21世紀イギリスを知
る文化事典』東京書籍、2009年4月
- 藤巻一保監修『図解雑学 世界の天使と悪魔』ナツメ社、
2009年6月
- 山北篤監修『図解水の神と精霊』新紀元社、2009年4月
- とくなのぞみ『神話とファンタジーの起源』幻冬舎ルネッ
サンス、2009年6月
- アリス・ミルズ／荒木正純訳監修『世界神話大図鑑—神話・
伝説・ファンタジー』東洋書林、2009年6月

参考文献

- 坪田譲治『児童文学入門』朝日新聞社、1949年1月
- 滑川道夫「児童文学史」（『文学』第19巻第8号、岩波書
店、1951年8月）
- 菅忠道『日本の児童文学』大月書店、1956年4月
- アザール／矢崎源九郎・横山正矢訳『本・子ども・大人』

- 紀伊國屋書店、1957年10月
- 古田足日『現代児童文学論』くろしお出版、1959年9月
- ヒューリマン／野村滋訳『子どもの本の世界』福音館、1969年4月
- 石井桃子他『子どもと文学』中央公論社、1960年4月
- 福田清人他編『児童文学概論』牧書店、1963年1月
- 佐藤忠男『少年の理想主義』明治図書、1964年5月
- リリアン・H・スミス／石井桃子訳『児童文学論』岩波書店、1964年4月
- 上笙一郎・加太こうじ編『児童文学への招待』南北社、1965年7月
- 石井桃子他『子どもと文学』福音館、1967年5月
- 相沢博『メルヘンの世界』講談社、1968年12月
- 横谷輝『児童文学の思想と方法』啓隆閣、1969年6月
- 上笙一郎『児童文学概論』東京堂出版、1970年1月
- 神宮輝夫『童話への招待』日本放送出版協会、1970年10月
- 鳥越信『日本児童文学史研究』（2冊）風濤社、1971年～1976年
- 瀬田貞二他『英米児童文学史』研究社、1971年8月
- 清水真砂子・八木田宜子編『英米児童文学年表・翻訳年表』研究社、1972年1月
- ヴィゴッキー／福井研介訳『子どもの想像力と創造』新読書社、1972年5月
- 上野瞭『現代の児童文学』中央公論社、1972年6月
- トールキン／猪熊葉子訳『ファンタジーの世界』福音館書店、1973年1月
- 『日本児童文学』（第19巻第1号）（特集：ファンタジー

- の世界) 盛光社、1973年1月
- 『日本児童文学』(第19巻第3号)(特集:現代のファンタジーの世界) 盛光社、1973年2月
- 森田伸子「近代教育こども観の形成」(『海外事情』1973年11月号、拓殖大学海外事情研究所)
- 上野瞭『ネバーランドの発想』すばる書房、1974年7月
- 桑野三郎『「赤い鳥」の時代』慶応通信、1975年10月
- 猪熊葉子・神宮輝夫『イギリス児童文学の作家たち』研究社出版、1975年10月
- 高杉一郎編『英米児童文学』中教出版、1976年5月
- ジャンニ・ロダーリ／窪田富男訳『ファンタジーの文法』筑摩書房、1978年5月
- 佐藤さとる『ファンタジーの世界』講談社、1978年8月
- 今江祥智『絵本の時代』世界思想社、1979年4月
- 佐野美津男『児童文学セミナー』季節社、1979年6月
- 杉山洋子『ファンタジーの系譜』中教出版、1979年6月
- 山室静『童話とその周辺』朝日新聞社、1980年6月
- 古田足日『現代日本児童文学への視点』理論社、1981年4月
- 安藤美紀夫『子どもと本の世界』角川書店、1981年11月
- J. R. タウンゼント／高杉一郎訳『子どもの本の歴史』(全2冊) 岩波書店、1982年1月
- 鳥越信『世界名作の子ども像』(叢書・児童文学への招待) 大日本図書、1984年3月
- 佐野美津男『児童文学のコスモロジー』杉山書店、1986年7月
- 小原信『ファンタジーの発想』新潮社、1987年3月
- 犬飼和雄監修『世界の中の児童文学と現実』ぬぶん児童図

- 書出版、1987年9月
- 西本鶏介編『児童文学の世界』偕成社、1988年6月
- 滑川道夫『日本児童文学の軌跡』理論社、1988年9月
- フレッド・イングリス／中村ちよ・北條文緒訳『幸福の約束 イギリス児童文学の伝統』紀伊國屋書店、1990年7月
- ニュー・ファンタジーの会『イギリス女流児童文学作家の系譜』（5巻）透土社、1990年4月～1996年8月
- 谷本誠剛『児童文学とは何か』中教出版、1990年9月
- ロジャー・セール／定松正訳『ファンタジーの伝統』玉川大学出版部、1990年10月
- ユーリイ・マン／秦野一宏訳『ファンタジーの方法』群像社、1992年5月
- ジョーゼフ、ビル／飛田茂雄訳『神話の力』早川書房、1992年7月
- 工藤左千夫『ファンタジーの世界へ』成文社、1992年10月
- ヴィゴッキー／福井研介訳『子どもの想像力と創造』新読書社、1992年12月
- ブライアン・ペリー／谷本誠剛・菱田信彦訳『ファンタジー文学入門』大修館書店、1993年3月
- 定松正『英米児童文学の系譜』こびあん書房、1993年6月
- 聖徳大学川並図書館編『イギリスの児童文学』聖徳学園、1993年10月
- 岡田純也『子どもの本の歴史』中央出版、1994年5月
- 赤木かん子『かんこのミニミニ世界児童文学史』図書館流通センター、1994年6月

- 井辻朱美『ファンタジーの森から』アトリエ OCTA、1994年7月
- 守屋慶子『子どもとファンタジー』新曜社、1994年7月
- 鳥越信編『近代日本児童文学史研究』おうふう、1994年11月
- 沖野岩三郎『明治キリスト教児童文学史』久山社、1995年6月
- シーラ・イーゴフ／酒井邦芳他訳『物語る力』偕成社、1995年7月
- 鳥越信『日本児童文学』建帛社、1995年10月
- 松島正一「児童文学と教育——イギリス・ロマン主義時代における」(『イギリス・ロマン派研究』第19・20号合併号、イギリス・ロマン派学会、1996年3月)
- 河合隼雄『ファンタジーを読む』講談社、1996年11月
- 麻生武『ファンタジーと現実』金子書房、1996年11月
- 日本児童文学学会編『児童文学の思想史・社会史』東京書籍、1997年4月
- 上田博他編『日本近代文学を学ぶ人のために』1997年7月
- 小谷真理『ファンタジーの冒険』筑摩書房、1998年9月
- 鳥越信「日本近代児童文学史の起点」(『日本児童文学』第44巻第6号、日本児童文学者協会、1998年12月)
- カール・シューカー／別宮貞徳監訳『龍のファンタジー』東洋書林、1999年11月
- さくまゆみこ『イギリスのファンタジーをめぐる旅』メディアファクトリー、2000年2月
- 三浦精子「講演要旨：世界の児童文学——イギリス児童文学の魅力」(『Lilium』第18号、広島文教女子大学英文学

- 会、2000年2月)
- 本多英明他編『たのしく読める英米児童文学』ミネルヴァ書房、2000年3月
- 加藤理『駄菓子屋・読み物と子どもの近代』青弓社、2000年5月
- 岩野礼子『イギリス・ファンタジーへの旅』晶文社、2000年7月
- 白百合女子大学大学院猪熊葉子ゼミ編集委員会編『ファンタジーの諸相』白百合女子大学児童文化研究センター、2001年2月
- 鳥越信編『はじめて学ぶ日本児童文学史』ミネルヴァ書房、2001年4月
- ミルワード／小泉博一訳『童話の国イギリス』中央公論新社、2001年10月
- ヴィゴッキー／広瀬信雄訳『子どもの想像力と創造』新読書社、2002年1月
- 池田紘一・眞方忠道編『ファンタジーの世界』九州大学出版会、2002年3月
- 本多英明編『英米児童文学の宇宙』ミネルヴァ書房、2002年4月
- 児童文学評論研究会／奥山恵編『児童文学批評・事始め』てらいんく、2002年10月
- 井辻朱美『ファンタジーの魔法空間』岩波書店、2002年12月
- 安藤聡『ファンタジーと歴史的危機』彩流社、2003年1月
- 荒俣宏『イギリス魔界紀行』日本放送出版協会、2003年4月

清水眞砂子『子どもの本とは何か』（かわさき市民アカデミー講座ブックレット No.17）（財）川崎市民生涯学習振興事業団かわさき市民アカデミー出版部、2003年4月

ファンタジー研究会『魔法のファンタジー』てらいんく、2003年5月

内田史子『英国ファンタジー紀行』小学館、2003年10月
工藤左千夫『ファンタジー文学の世界』（新版）成文社、2003年10月

『ダンス・マガジン』（特集：ファンタジーと現代）（1月号別冊）新書館、2004年1月

柴田陽弘編『文学の子どもたち』慶應義塾大学出版会、2004年2月

高田賢一『アメリカ文学のなかの子どもたち』ミネルヴァ書房、2004年3月

古田足日・鳥越信・神戸光男『日本児童文学を斬る』せせらぎ出版、2004年3月

定松正『イギリス児童文学紀行』玉川大学出版部、2004年4月

日本児童文学学会編『児童文学研究の現代史』小峰書店、2004年4月

三宅興子『もうひとつのイギリス児童文学史』翰林書房、2004年7月

脇明子『ファンタジーの秘密』沖積舎、2004年10月

リン・カーター／中村融訳『ファンタジーの歴史』東京創元社、2004年11月

上笙一郎『日本児童文学研究史』港の人、2004年11月

アリソン・ルーリー／麻生九美訳『永遠の少年少女』晶文

- 社、2004年12月
- 桂宥子他編『英米児童文学の黄金時代』ミネルヴァ書房、
2005年4月
- ひと田中『大人のための児童文学講座』徳間書店、2005
年4月
- 井辻朱美『ファンタジー万華鏡』研究社、2005年5月
- 河村義人『子どもたちへのブンガク案内』飯塚書店、2005
年10月
- 小西正保『児童文学の伝統と創造』ハッピーオウル社、2005
年11月
- 内藤貴子「ヨーロッパの中のイギリス児童文学」(『日本児
童文学』特集・ヨーロッパを読む、第51巻第6号、小
峰書店、2005年12月)
- 白百合怪異研究会編『児童文学の異界・魔界』てらいんく、
2006年2月
- 福田志津枝『これからの児童福祉』ミネルヴァ書房、2006
年4月(第4版)
- ル・グウィン／青木由紀子訳『ファンタジーと言葉』岩波
書店、2006年5月
- 脇明子『魔法ファンタジーの世界』岩波書店、2006年5
月
- 2005 国立国会図書館国際子ども図書館編『日本児童文学
の流れ』(平成17年度国際子ども図書館児童文学連続講
座講義録) 国立国会図書館国際子ども図書館、2006年
10月
- 荻原規子『ファンタジーのDNA』理論社、2006年11月
- やまねこ翻訳クラブ編『大人のファンタジー読本』マッグ
ガーデン、2006年12月

- 山本麻里耶「ドラゴンのイメージ変遷—1950年代から1990年のファンタジーにおける人間がドラゴンに変身する場合とドラゴンが人間に変身する場合について」(『白百合女子大学児童文化研究センター論文集』X、白百合女子大学児童文化研究センター、2007年3月)
- 渡辺茂男『心に緑の種をまく—絵本のたのしみ—』新潮社、2007年3月
- 日本児童文学者協会編『現代児童文学論集』(全5巻)日本図書センター、2007年6月
- サウンディング英語英米文学会編『想像力と英文学—ファンタジーの源流を求めて』金星堂、2007年9月
- 国立国会図書館国際子ども図書館編『絵本の愉しみ—イギリス絵本の伝統に学ぶ』国立国会図書館国際子ども図書館、2007年10月
- 国立国会図書館国際子ども図書館編『ファンタジーの誕生と発展』国立国会図書館国際子ども図書館、2007年10月
- 関口安義編『アプローチ児童文学』翰林書房、2008年2月
- 齊藤史夫「子どもの生活圏とファンタジー」(『早稲田大学大学院文学研究科紀要』第53輯第1分冊、2008年2月)
- 定松正『「子どもと文学」を視つめて』ほんのしろ、2008年3月
- 高木昌史・高木万里子編『グリム兄弟メルヘン集』法政大学出版社、2008年7月
- 鳥越信『大阪国際児童文学館蔵書解題』大阪国際児童文学館を育てる会、2008年12月
- 桐山恵子『境界への欲望あるいは変身』世界思想社、2009

年 1 月

とくなのぞみ『神話とファンタジーの起源』幻冬舎ルネッサンス、2009 年 2 月

藤本英二『児童文学の境界へ』久山社、2009 年 5 月

中野節子『ファンタジーの生まれるまで』JULA 出版、2009 年 5 月

瀬田卓二『児童文学論』（全 2 巻）福音館書店、2009 年 5 月

成瀬俊一編『英米児童文学のベストセラー 40』ミネルヴァ書房、2009 年 6 月

櫻庭彰子編『ファンタジー絵本展～東逸子の世界～』軽井沢絵本の森美術館、2009 年 6 月

インターネット

国立国会図書館

<http://www.ndl.go.jp>

国際子ども図書館

[http://www.kodomo.go.jp/resource/search/index.](http://www.kodomo.go.jp/resource/search/index)

大阪府立国際児童文学館

<http://museum.iiclo.or.jp/>

教科書に掲載された作品

http://iicolo.or.jp/data/mukogawa_1992.html

日本児童文学学会

<http://www.jscl.internet.ne.jp/>

絵本学会

<http://www.u-gakusei.ac.jp/~ehon/index.html>

日本イギリス児童文学学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscl/>

日本児童文学者協会

<http://www.jibunkyo.or.jp/>

日本国際児童図書評議会

<http://www.jbby.org/>

フランクフルト大学児童図書研究所

<http://www.uni-frankfurt.de/fb/fb10/jubufo/index.html>

ミュンヘン国際児童図書館

<http://www.ijb.de/files/Seite00.htm>

伊豆高原ワイルドスミス絵本美術館

<http://www.metm.co.jp/>

函館児童雑誌コレクション及び北海道児童雑誌データベース

http://219.101.197.58/hakodate_jido_zasshi/index.htm/

神奈川近代文学館

<http://www.kanabun.or.jp/>

三康文化研究所附属三康図書館

<http://www.f2.dion.ne.jp/~sanko/>

日本近代文学館

<http://www.bungakukan.or.jp/>

東京都立多摩図書館

<http://www.library.metro.tokyo.jp/>

梅花女子大学図書館

<http://www.baika.ac.jp/%7Elib/>

小樽 絵本・児童文学研究センター

<http://www.obo.otaru.hokkaido.jp/ej/in.htm>

子どもの本参考文献

[http://members.jcom.home.ne.jp/tn-delamancha/
sankou/sankou.html](http://members.jcom.home.ne.jp/tn-delamancha/sankou/sankou.html)

インターネット版児童文学資料研究

[http://www.dl.dion.ne.jp/ueda_nob/shiryo/shiryo.
html](http://www.dl.dion.ne.jp/ueda_nob/shiryo/shiryo.html)

武井武雄の世界 イルフ童画館

<http://www.ilf.jp/>

アンデルセン生誕 200 年アジア事務局

<http://www.medialynx.co.jp/andersen//>

軽井沢絵本の森美術館

<http://www.museen.org/ehon/index2.html>

(吉田新一文庫のホームページは完備されていないもの、資料の閲覧やコピーができる)

黒姫童話館&童話の森ギャラリー

<http://www.avis.ne.jp/~dowakan/>

2) 「子ども観」に関する資料（戦後を中心に）

戦前編

参考文献

- 松本孝次郎『児童研究』帝国通信講習会、1901年11月
エレン・ケイ／大村仁太郎訳『二十世紀は児童の世界』精華書院、1906年10月
松本孝次郎『家庭に於ける児童教育』国光社、1906年11月
ポール・ケーラス／石川弘訳／高島平三郎訳『家庭に於ける児童教育の理論及び実際』洛陽堂、1912年
中村五六・和田實『幼児教育法』フレーベル舎、1908年11月
オーウェン／永野芳夫編『幼児教育の新研究』モナス、1925年4月
苦瓜恵三郎『幼児教育の原理と其方法』明治図書、1925年6月
渡部政盛『教育的児童観研究』啓文社書店、1936年5月
城戸幡太郎『幼児教育論』賢文館、1939年11月
依田新『児童観と児童研究』巖松堂、1940年
市橋善之助『幼児教育論』三笠書房、1941年5月
柳田国男『こども風土記』朝日新聞社、1942年2月

戦後編

事典・辞典・ガイドブック類

文部省編『保育要領 幼児教育の手引き』師範学校教科書、
1948年4月

教師養成研究会幼児教育部会編『幼児教育の手引き』学芸
図書、1955年

日本子どもを守る会編『子ども白書』緑星社（現在は草土
文化より発行）、1964年～。

子ども調査研究所編『現代子ども白書』三一書房、1967
年12月

日外アソシエーツ編『児童教育の本全情報』(1992-2005)、
日外アソシエーツ、紀伊國屋書店、1993年1月

日外アソシエーツ編『教育問題情報事典』紀伊國屋書店、
1993年2月

森敏昭編『教育心理学キーワード』有斐閣、2006年11月
古川孝順・金子光一編『社会福祉発達史キーワード』有斐
閣、2009年5月

参考文献

小川正通『新しい幼児教育のために』昭和出版、1948年7
月

後藤岩男『児童観察の理論と方法』目黒書店、1948年10
月

石川謙『我が国における児童観の発達』振鈴社、1949年

1 月

児童研究会『児童研究法』金子書房、1949 年

木村武夫『児童福祉入門』医学書院、1953 年 11 月

小川正通『保育原理 現代幼児教育論』金子書房、1955
年 8 月

木田文夫・周郷博・三木安正編『幼児教育講座』（全 2 冊）
国土社、1955 年 9 月～10 月

佐瀬仁『児童観の心理学』牧書店、1956 年 9 月

アルフレッド・ビナー／波多野完治訳『新しい児童観』明
治図書出版社、1961 年 10 月

佐野美津男『子どもにとって美は存在するか』誠信書房、
1965 年 1 月

佐野美津男『現代にとって児童文化とは何か』三一書房、
1965 年 4 月

『世界の文学にあらわれた児童観』青少年問題研究会、
1968 年 3 月

佐藤忠男・山村賢明編『現代社会と子ども』東洋館出版社、
1970 年 9 月

オスワルト／保田史郎訳『モンテッソーリ教育における児
童観』理想社、1971 年 6 月

石井桃子『子どもと文学』福音書館、1972 年 5 月

今岡健一郎他編『社会福祉発達史』ミネルヴァ書房、1973
年 4 月

森田伸子「近代教育とこども観の形成」（『海外事情』11
月号、拓殖大学海外事情研究所、1973 年 11 月）

庄司和晃『柳田国男の教育的研究』成城学園初等学校出版
部、1975 年 8 月

石川謙『わが国における児童観の発達』青史社、1976 年

12

月

佐野美津男『イメージの誕生』農山漁村文化協会、1978年6月

津守眞『子ども学のはじまり』フレーベル館、1979年1月

佐野美津男「近代子ども観とその成立過程」(『児童文学セミナー』季節社、1979年6月)

古川原『児童観人類学序説』亜紀書房、1978年9月
『子ども』(東京大学公開講座30)東京大学出版会、1979年11月

庄司和晃『柳田民俗学の子ども観』明治図書出版、1979年12月

佐野美津男『子ども学』農山漁村文化協会、1980年5月

佐野美津男『論集子ども学』杉山書店、1981年5月

三枝孝弘・田畑治『現代の児童観と教育』福村出版、1982年6月

佐野美津男『論集子ども学』(第2集)杉山書店、1983年5月

本多英明『英国の子どもの「本」』新人物往来社、1983年3月

堀尾輝久『子どもを見なおす』岩波書店、1984年5月

加藤秀俊『子どもの文化史』チャイルド社、1984年11月

小林登他編『新しい子ども学』(全3巻)海鳴社、1985年12月～1986年7月

大場幸夫・本間直宏編『子ども概論』蒼丘書林、1986年9月

深谷昌志編『児童観』放送大学教育振興会、1986年3月

- 佐野美津男『児童文学のコスモロジー』杉山書店、1986年7月
- 佐藤泰正編『文学における子ども』笠間書院、1986年12月
- 本田和子『子どもという主題』大和書房、1987年4月
- 中原実道『養護教諭の教育観と子ども観』東山書房、1987年8月
- 鈴木祥蔵『新しい子ども観を』明石書店、1990年7月
- 谷本誠剛「二つの児童観と物語の効用」(『児童文学とは何か』中教出版、1990年9月)
- 幸喜伝善『学力向上のために、教育観・児童観を見直そう』幸喜伝善、1992年11月
- ベネッセコーポレーション編『季刊 子ども学』(全18巻)ベネッセコーポレーション、1993年～1998年
- 大田堯『子育て社会・文化』岩波書店、1993年6月
- 北本正章『子ども観の社会史』新曜社、1993年10月
- 梅沢信生『子ども観の歴史』新読書社、1993年11月
- 杉岡津岐子編『子ども学』ナカニシヤ出版、1994年12月
- 小林登『子ども学』日本評論社、1999年7月
- 斉藤秋男『比較子ども学』教育史料出版会、1996年11月
- 『北海道子ども学研究』(第1号～)北海道子ども学会、1997年～
- 林浩康「子ども観の歴史的変遷」(『北星論集』第34号、北星学園大学、1997年3月)
- 石川謙『我が国における児童観の発達』久山社、1997年4月
- 横須賀薫『児童観の展開』久山社、1997年4月
- 乾孝他『児童観の歴史』久山社、1997年4月

- 竹内オサム『児童文学と子ども学』久山社、1997年9月
- 河原和枝『子ども観の近代』中央公論社、1998年2月
- 宮脇源次他『児童福祉入門』（第4版改訂）ミネルヴァ書房、1998年11月
- 甲南女子大学国際子ども学研究センター編『子ども学』（第1号～）甲南女子学園、1999年3月～
- 文部省編『文部時報』（特集・全国子どもプラン）（通巻1473号）ぎょうせい、1999年5月
- 森山茂樹・中江和恵『日本子ども史』平凡社、2002年5月
- 小山静子『子どもたちの近代』吉川弘文館、2002年8月
- 『こども学研究』（第1号～）鹿児島女子大学大学院・大学・短期大学こども発達臨床センター、2003年～
- 住田正樹代表『現代日本の「子ども観」に関する実証的研究』（科学研究費補助金基盤研究（C）（2）研究成果報告書）九州大学、2004年2月
- 柴田陽弘「子どもの世界」（柴田陽弘編『文学の子どもたち』慶應義塾大学出版会、2004年2月）
- 藤井千春『子ども学入門』明治図書出版、2004年5月
- 『チャイルド・サイエンス』（第1号～）「日本子ども学会」事務局、2004年8月～
- 『こども学』（第1号～）東大阪大学こども研究センター、2005年～
- 塩見慎朗・長尾和英『愛の子育て—子ども学のすすめ』昭和堂、2005年4月
- 後藤範子『保育内容と子ども観』学事出版、2005年4月
- 『子ども未来学研究』（第1号～）梅光学院大学子ども学部、2006年～

- 佐瀬一男・尹竜沢『子ども学へのプレリユード』北樹出版、
2006年2月
- 高橋綾「こども学から〈こどもの哲学〉へ：メルロ＝ポン
ティ、デューイとともに」博士論文（大阪大学：授与年
月・2006年3月24日）
- 高橋勝『情報・消費社会と子ども』（子ども観改革シリー
ズ）明治図書出版、2006年11月
- 浅井春夫編『子ども福祉』建帛社、2007年4月
- 『子ども学論集』（第1号～）日本児童教育専門学校、2008
年～
- 浜田寿美男・奈良女子大学『赤ずきんと新しい狼のいる世
界―「子ども学」の構築のために』洋泉社、2008年2
月
- 狭間恵三子『現代社会と子どもたち』サントリー次世代研
究所、2008年3月
- 野上暁『こども学その源流へ』大月書店、2008年3月
- 東野充成『子ども観の社会学』大学教育出版、2008年3
月
- 中井孝章『子ども学入門』日本教育研究センター、2008
年5月
- 小林登『子ども学のまなざし』明石書店、2008年12月
- 新井邦二郎・浜口佳和『教育心理学』培風館、2009年1
月
- 浜田寿美男『子ども学序説』岩波書店、2009年1月
- 久保田健一郎「明治期における子ども観の形成」（平野正
久編『教育人間学の展開』北樹出版、2009年1月
- 森上史朗他編『保育原理』ミネルヴァ書房、2009年4月
- 小笠原道雄編『進化する子ども学』福村出版、2009年4

月

インターネット

日本保育学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jsrec/>

日本児童福祉協会

http://www.fukushikyokai.or.jp/o_top.htm

日本子ども社会学

<http://www.soc.nii.ac.jp/jscs2/index.html>

日本教育学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscs2/index.html>

日本教育社会学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jscs2/index.html>

日本子ども学会

<http://www.crn.or.jp/KODOMOGAKU>

幼児教育史学会

<http://youjikyokushi.org/index.html>

国際幼児教育学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/iaec>

子ども学研究室

<http://www.crn.or.jp/LABO/KODOMO/WHAT/01/index.html>

Child Research Net

<http://www.crn.or.jp>

UNESCO

<http://portak.unesco.org/>

3) こども観・児童文学史関連年表

- BC. 8 ホメロスの叙事詩（希）
- BC. 6 『イソップ童話』（希）
- 10 オーヴィッド『変身物語』（希）
- 725 『ベオウルフ』（英）
- 13世紀 『ロビン・フッド』（英）
- 1485 トマス・マロリー『アーサー王の死』（英）
- 1492 コロンブス、アメリカ新大陸発見。
- 1590 エドモンド・スペンサー『妖精物語』（英）
- 1595 シェイクスピア『夏の夜の夢』（英）
- 1611 シェイクスピア『テンペスト』（英）
- 1658 コメニウス『世界図解』（チェコ）
- 1667 ミルトン『失樂園』（英）
- 1678 バニヤン『天路歷程』（英）
- 1693 ロック『教育論』（英）
- 1697 ペロー『教訓を伴った過ぎし日の物語』（『ペロー童話集』）
- 1708 ガラン『アラビアン・ナイト』（『千夜一夜』）（英訳）
- 1719 ディフォー『ロビンソン・クルーソー』（英）
- 1726 スイフト『ガリバー旅行記』（英）
- 1734 「ジャックと豆の木」（活字化される）（英）
- 1761 ルソー『新エロイズ』（仏）
- 1762 ルソー『エミール』（仏）
- 1762 ルソー『社会契約論』（仏）
- 1766 ジョン・ニューベリーの「バイブル・アンド・サン」

(世界最古初の児童図書の出版) (英)

- 1770 ボーモン夫人『美女と野獣』(仏)
- 1780 クーパー『マザー・グースのメロディ』(英)
- 1802 ユゴー『レ・ミゼラブル』(仏)
- 1806 ラム姉弟『シェイクスピア物語』(英)
- 1812 「三匹の子豚」(活字化される)(英)
- 1812 グリム兄弟『子どもと家庭のための童話集』(独)
- 1818 シェリー『フランケンシュタイン』(英)
- 1835 アンデルセン『子どものための童話集』(第1集)
(丁)
- 1838 ディケンズ『オリヴァー・トウィスト』(英)
(~1839)
- 1843 ディケンズ『クリスマス・キャロル』(英)
- 1844 ペール『三銃士』(仏)
- 1845 ペール『モンテ・クリスト伯爵』(仏)
- 1851 ラスキン『黄金の川の王様』(英)
- 1852 グレート・オーモンド病院開設 (英)
- * 小児専門の医療の発達
- 1852 ホーソン『ワンダー・ブック』(米)
- 1852 ストウ夫人『アンクル・トムの小屋』(米)
- 1863 キングズレー『水の子』(英)
- 1865 キャロル『不思議の国のアリス』(英)
- 1865 ヴェルヌ『地底旅行』(仏)
- 1865 ヴェルヌ『月世界旅行』(仏)
- 1868 明治維新 (日)
- 1868 オルコット『若草物語』(米)
- 1868 福澤諭吉『訓蒙窮理図解』(日)
- 1869 ヴェルヌ『海底二万マイル』(仏)

- 1870 義務教育法（英）
- 1870 古川正雄『絵入智慧の環』（日）
- 1871 キャロル『鏡の国のアリス』（英）
- 1871 ウィード『フランダースの犬』（英）
- 1871 マクドナルド『北風のうしろの国』（英）
- 1872 学制（日）
- 1872 マクドナルド『お姫様とカーディ』（英）
- 1872 ヴェルヌ『八十日間世界一周』（仏）
- 1872 クレイク夫人『小人ブローニーの冒険』（英）
- 1875 クレイク夫人『小さなびっこの王子』（英）
- 1876 トウェイン『トム・ソーヤーの冒険』（米）
- 1878 エクトール・アンリ・マロ『家なき子』（仏）
- 1883 スチーブンソン『宝島』（英）
- 1883 トウェイン『ハックルベリー・フィンの冒険』（米）
- 1883 コッローディ『ピノッキオ』（伊）
- 1886 スチーブンソン『ジキル博士とハイド氏』（英）
- 1886 バーネット『小公子』（米）
- 1886 ドイル『緋色の研究』（シャーロック・ホームズ・シリーズの開始）（英）
- 1888 ワイルド『幸福な王子』（英）
- 1888 バーネット『小公女』（米）
- 1888 イエイツ『アイルランド童話集』（愛）
- 1889 児童虐待防止法（英）
- 1890 ジェイコブス『イギリスの昔話集』（英）
- 1891 巖谷小波『こがね丸』（少年文学叢書）（日）
- 1891 ワイルド『柘榴の家』（英）
- 1894 キプリング『ジャングル・ブック』（英）
- 1895 ケネス・グレアム『黄金の時代』（英）

- 1895 『少年世界』創刊（日）
- 1896 ウェルズ『ドクター・モローの島』（英）
- 1897 ウェルズ『タイム・マシン』（英）
- 1898 ストーカー『ドラキュラ』（英）
- 1898 ウェルズ『宇宙大戦争』（英）
- 1900 バウム『オズの魔法使い』（米）
- 1900 押川春浪『海底軍艦』（日）
- 1901 ポッター『ピーター・ラビット』シリーズ開始（英）
- 1904 バリー『ピーター・パン』（英）
- 1904 ハーン『怪談』（英）
- 1905 バーネット『秘密の花園』（米）
- 1905 アインシュタイン『特殊相対理論』（独）
- 1908 ケネス・グレアム『楽しい川べ』（英）
- 1908 M・モンゴメリー『赤毛のアン』（加）
- 1911 バリー『ピーター・パンとウェンディ』（英）
- 1912 ウェブスター『あしながおじさん』（米）
- 1914 『少年倶楽部』創刊（日）
- 1918 『青い鳥』創刊（日）
- 1919 ロフティング『ドリトル先生アフリカゆき』（米）
- 1920 チャペック『R. U. R』（チェコ）
- * 「ロボット」という言葉が初めて使用される。
- 1926 ミルン『くまのプーさん』（英）
- 1932 ワイルダー『大きな森の小さな家』（米）
- 1934 トラバース『風にのってきたメアリー・ポピンズ』
（米）
- 1935 トラバース『帰ってきたメアリー・ポピンズ』（米）
- 1935 ワイルダー『大草原の小さな家』（米）
- 1937 トールキン『ホビットの冒険』（英）

- 1939 宮沢賢治『風の又三郎』（日）
1940 ナイト『名犬ラッシー』（米）
1945 ポツダム宣言（第2次世界大戦終結）
1946 児童文学者協会創立（日）
1947 児童福祉法（日）
1947 教育基本法（日）
1950 全国学校図書館協議会設立（日）
1950 ルイス『ナルニア国物語』（シリーズ開始）（英）
1950 アシモフ『われはロボット』（米）
1951 児童憲章
1951 サリンジャー『ライ麦畑でつかまえて』（米）
1952 日本子どもを守る会設立（日）
1954 トールキン『指輪物語』（～1955）（英）
1958 ボンド『パディントン・ベア』（英）
1961 ダール『おばけ桃の冒険』（英）
1966 ダール『チョコレート工場の秘密』（英）
1967 日本子どもの本研究会結成（日）
1969 アポロ11号、人類初の月着陸。（米）
1972 ダール『ガラスの大エレベーター』（英）
1975 マイクロソフト社設立（米）
1977 アップル・コンピュータ社設立（米）
1979 国際児童年
1983 ダール『魔女がいっぱい』（英）
1984 大阪国際児童文学館開館（日）
1988 ダール『マチルダ』（英）
1993 子どもと本の出会いの会設立（日）
1994 児童の権利に関する条約
1995 ブルマン『ライラの冒険 黄金の羅針盤』（英）

- 1997 ブルマン『ライラの冒険 神秘の短剣』（英）
- 1997 ローリング『ハリー・ポッターと賢者の石』（英）
- 1998 ローリング『ハリー・ポッターと秘密の部屋』（英）
- 1999 ローリング『ハリー・ポッターとアズカバンの囚人』
（英）
- 2000 ローリング『ハリー・ポッターと炎のゴブレット』
（英）
- 2000 ブルマン『ライラの冒険 琥珀の望遠鏡』（英）
- 2002 NPO 法人国際子どもの本研究センター設立
- 2002 CRN 子ども学研究会設立（日）
- 2003 ローリング『ハリー・ポッターと不死鳥の騎士団』
（英）
- 2005 ローリング『ハリー・ポッターと謎のプリンス』（英）
- 2007 ローリング『ハリー・ポッターと死の秘宝』（英）

略語 （希）ギリシャ、（英）イギリス、（米）アメリカ
（仏）フランス、（愛）アイルランド、（加）カナダ
（伊）イタリア、（丁）デンマーク、（日）日本

パワーポイント

これ以降は本日使用したパワーポイントの基礎データをプリントアウトしたものです。パワーポイントは当日ギリギリまでデータ等の入れ替えを行いますので、当日のものと一部異なる場合があります。

おわりに

「文学を考える 児童文学・ファンタジー・科学」題した本日の授業の参考資料です。テーマを決めて文学作品を読んでいくと異なった様相が見えてきます。文学として読み、演劇として観て、さらに映画作品として見ると、さらに理解が深まります。

なお、私自身の経歴等の詳細な内容については本学ホームページ「武蔵野学院大学・武蔵野短期大学」(<http://www.musashino.ac.jp>)、あるいは個人ホームページ「佐々木隆研究室」(<http://www.ssk.econfn.com>)までアクセス願います。

また、本講座の基となった内容については以下のものが中心となっているので紹介しておきたい。

「佐々木隆研究室パート2」

(<http://geocities.yahoo.co.jp/gl/ssk2000takashi>)

「子どものための外国文学」

(2009年5月6日～26日)(全26回)

「ファンタジーの一考察」

(2009年5月27日～7月3日)(全34回)

「こども学に関する一考察」

(2009年10月3日～現在に至る)

作成者 佐々木隆

発行日 2009年12月14日

発行所 武蔵野学院大学佐々木隆研究室

<http://www.ssk.econfn.com>